

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	21747
事業名	地域子育て支援推進費					
評価担当課	所属名	子)子育て支援 子育て支援課				
	課長名	江積	担当者名	米野	電話番号	211-2988
施策名	主	-				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	● 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	こそだてインフォメーション等における子育て相談や子育て講座などで子育て世帯の孤立化を防止し、不安解消に努める。			
		長期	子育て家庭の孤立化を防止するとともに、子育てに対する不安感や負担の軽減を図るため、子育て家庭への支援と、地域で子育てを支える環境づくりを行い、安心して子どもを産み育てられるまちづくり、子育ての喜びを実感できる社会づくりを推進していく。			
	取組内容	【目的】乳幼児を持つ子育て家庭を支援し、地域における子育て支援環境の整備を図る。 【内容】①地域における支援の場の充実(地域づくりの推進、子育てサロン支援) ②人づくり(子育て支援者の育成、次世代育成支援、普及啓発) ③子育て家庭への支援(子育て家庭への情報提供、仲間づくり、こそだてインフォメーションの運営) ④さっぽろ子育て情報サイト、さっぽろ子育てアプリの保守費用 ⑤さっぽろ子育てきずなメールの運営費用				
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援推進ネットワーク会議開催回数:8回 サークル活動支援件数:7件 地域支援件数:4, 210件 こそだてインフォメーション利用件数:26, 615件 育児相談件数:3, 949件 子育て情報サイトの閲覧件数:4, 197件 					
事業実施における工夫点	在宅でも子育てに関する情報が入手できたり、不安やストレスを解消できたりするツールとして、さっぽろ子育てアプリから、妊娠期から切れ目なく子育て世帯に有益な情報をプッシュ通知で届ける「さっぽろ子育てきずなメール」の配信を継続した。					
対象者	全ての子育て家庭	開始	0 年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等	札幌市地域子育て支援事業実施要綱					
他都市の状況	他都市との比較は困難					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	41,908	53,762	40,398	49,503
うち特定財源	136,200	138,074	149,275	155,525
人工	79.3	79.3	80.0	80.0
人件費	570,960	570,960	576,000	576,000
計(事業費+人件費)	612,868	624,722	616,398	625,503
事業費の内訳	令和3年度決算	会計年度職員報酬:17,750千円 会計年度職員期末手当:3,764千円 会計年度職員共済費:3,760千円 時間外勤務手当:544千円 サイト・アプリ運営費(きずなメール込):5,574千円		
	令和4年度予算	会計年度職員報酬:19,550千円 会計年度職員期末手当:3,900千円 会計年度職員共済費:3,970千円 時間外勤務手当:5,590千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	地域支援件数		
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
	2,160件	2,160件	4,210件	4,210件
活動指標2	指標名	子育て情報サイトの閲覧件数(PV)		
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
	4,000,000	4,500,000	4,197,096	4,197,096
成果指標1	指標名	こそだてインフォメーション利用件数		
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
	21,000件	30,000件	26,615件	26,615件
成果指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
項目	判定	理由		
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	B	地域主体の子育てサロンの運営支援により、サロンの実施や箇所数も安定し、地域での子育て支援の環境づくりに貢献している。その他、子育て講座やボランティア養成講座等の実施により着実に子育て家庭の孤立化防止等に成果を上げているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標には達していない。		
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	「こそだてインフォメーション」では、各区の地域事情のニーズに応えている。さっぽろ子育て情報サイト及びアプリについても、さっぽろ子育てきずなメールの配信やタイムリーな情報提供を行い、利用者のニーズに応えている。		
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	地域で子育てを支える環境づくりのためにボランティアや子育てサロン運営者の支援・育成に適切な人員体制で実施している。		
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	サロン数やボランティア人数、さっぽろ子育て情報サイトの閲覧数は安定的に推移しており、地域ニーズに対応できている。		
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映			
今後の改善点	引き続き「こそだてインフォメーション」のPRを行い、必要な子育て支援サービスが子育て家庭に届きやすくなるよう情報提供を行っていく必要がある。 また、さっぽろ子育て情報サイトとさっぽろ子育てアプリについても、必要な子育て情報が子育て家庭に届きやすくなるよう情報提供を行っていく必要がある。			
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
今年度取り組んだ見直し内容	利用者の利便性の向上に努め、ニーズに合った情報提供を行った。		見直し効果額 (前年度)	0 千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
評価の理由	こそだてインフォメーションの利用者数は安定的に推移しており、子育て家庭の孤立化防止等に成果をあげている。			
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	○ 改善 ● 現状維持 ○ 休止・廃止 次年度も引き続き、乳幼児を持つ子育て家庭を支援していく。		
	予算	○ 拡充 ○ 現状維持 ● 縮小 ○ その他 人件費の見直しによる。		見直し効果額 7,899 千円